

2002年の小学5年生の1週間

～ ある小学5年生の日記をのぞいてみました ～

月 日(月)

今日は学校にとなりのおじさんがやってきた。

わたしも知らなかったけど、おじさんは、この町の歴史や文化のことを研究しているそうだ。3時間目の社会の時間に先生といっしょにいきなり教室にやってきて、昔の町の風景などの写真を見せてくれながら、「天神祭りがなぜ始まったのか」とか「となり町の城がなぜあの場所につくられたのか」などの話をしてくれた。

特にお城の話は本当におもしろくて、後ろで聞いていた先生もおじさんにいっぱい質問をしていた。

あとで先生が、来週は理科の時間に、会社で植物の研究をしている人が話にきてくれると言っていた。今から聞きたいことをいっぱい考えておいて、今度こそは先生に負けないように質問しなければ...

(特別非常勤講師制度：Q19をご覧ください)



月 日(火)

今日は算数の時間にはじめて分数のたし算とひき算を習った。

お兄ちゃんの頃に比べると進むスピードがおそくなったとお母さんは心配しているけど、そのかわりに、ゆっくり、わかりやすく、教えてくれるので、算数の苦手なわたしにとっては、このくらいがちょうどいい。

先生が出した問題ができた人から算数のパズルをやることができたんだけど、わたしは時間ぎりぎりでやっとわかったので、パズルがあまりできなかった。

だから、家に帰って、ケーキを食べながらパズルをした。

ふと、このケーキは丸いケーキの何分の1なのかなあ？

と考えた...

(教育内容の厳選：Q14をご覧ください)



月 日（水）

今日はお昼休みにおじいちゃんやおばあちゃんたちといっしょに給食を食べながら、いろいろな話をした。

うちの学校は、老人ホームといっしょにつくられているので、毎週1回交流会があるのだ。

わたしはこの時間をとって楽しみにしている。おじいちゃんやおばあちゃんから、子どもの頃の話や遊びを聞いたり、昔の遊びをいっしょにできたりするからだ。

今日は、逆に、わたしが、おじいちゃんたちに、今学校で習っていることややっている遊びのことを教えてあげた。

家に帰ってお父さんに話してみると、お父さんの小学生のころには老人ホームといっしょの学校なんて1つもなかったそう。それどころか、学校の周りにはフェンスがあって、学校のなかには先生と子どもしかいなかったそう。

おじいちゃん、おばあちゃんと遊べる方が楽しいのにね。

（学校施設の複合化：Q8,Q27をご覧ください）

月×日（木）

今日はわたしが一番楽しみにしている「総合学習」の授業があった。

自分で好きなことを1つ決めて、同じようなことを好きな友だちとグループで勉強するのだ。わたしたちはカブトムシやクワガタが好きなので、みんなで昆虫の一生について調べている。今日は図書室でクワガタの一生を調べた。なかなか本が見つからなかったので図書室の先生にも手伝ってもらった。そしたら、本だけじゃなくてビデオも見つかった。みんなでビデオも見て、今日一日でだいぶくわしく調べられた。

来月の発表会まであと少しなので、最後に、博物館にも行ってみたいと思っている。

そういえば、先生が、「県立博物館では、本物の昆虫がたくさんいて、さわったりして観察できるぞ」と言っていた。

今度はみんなでそこに行って調べてみようかな。

（総合的な学習の時間：Q13,親しむ博物館づくり事業：Q44をご覧ください）



月 日（金）

今日はスポーツクラブの日だ。

学校が終わってからお兄ちゃんと近くのスポーツセンターに行った。

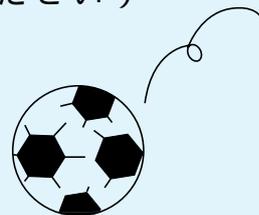
わたしは、サッカーをしている。昔、全国大会にも出たことがあるというきさ店のおじさんが教えてくれている。ちょっと太りぎみのお兄ちゃんはダイエットのために水泳をしている。

夜には、うちのお父さんも「今日はとなり町のチームとバレーボールの試合だから」と言って、はりきって出かけていった。

学校の友だちとだけじゃなくて、町のいろいろな人たちといっしょに運動できるし、サッカーだけじゃなくていろいろなスポーツをできるから、とっても楽しい。

中学校に行っても、ずっと続けていきたいと思っている。

（総合型地域スポーツクラブ：Q49をご覧ください）



月 日（土）

今日は家族みんなでハイキングに行った。前にお母さんが郵便局でもらってきた子どもセンターがつくっているお知らせで見つけた場所だ。

山に登って、川で魚つりをしたり、カヌーに乗ったりした。

緑がいっぱいでとても気持ちよかった。こんな体験ができる場所は他にもいっぱいあるそう。毎週でも行ってみたいなあ。

今年から毎週土曜日が休みになってよかったな。だって、学校も楽しいけれど、今日みたいに家族みんなでどこかへでかけたり、町のいろいろな行事に参加できたり、1日中友だちと遊んだりすることができるからね。

（全国子どもプラン：Q5,Q6をご覧ください）



月 日(日)

わたしは将来、宇宙飛行士になりたい。

だから、今から、宇宙のことや科学のことを勉強している。

今日は、うちのそばの公民館で、前からとても楽しみにしていたロケットを作って打ち上げる教室があったので、友だちと参加した。

ロケットを作るのはたいへんだったけど、自分の作ったロケットが空高く打ち上がったときには、すごくびっくりしたし、うれしかった。

教えてくれた大学の先生にいろいろなことを聞いて、ますます宇宙に行ってみたくなったり、もっともっと勉強しなくてはいけないことがよくわかった。

夏休みには、もっといろいろな物を作ったりする教室もあるそうだから、絶対に参加するぞ！

ちなみに、別の教室に参加したお兄ちゃんは、空きカンを使って楽器を作ったそうで、家に持って帰って、演そうしながらみんなに自まんしていた。

わたしの作ったロケットの方がすごいんだけどなあ...

(全国子どもプラン：Q5,Q6,

ふれあいサイエンスプログラム：Q46を

ご覧ください)



~ 文部省からひとこと ~

この日記を読まれて、みなさんはどう思われましたか？
一人一人が、それぞれの将来を夢見ながら、いきいきとした瞳で、元気いっぱい走り回り、いろいろなことに興味・関心を持って果敢にチャレンジしていく...きっとそんな子どもたちの姿を想像されたのではないのでしょうか。

そんな21世紀を目指して、みなさんと一緒に「教育改革」に取り組んでいきたいと考えています。